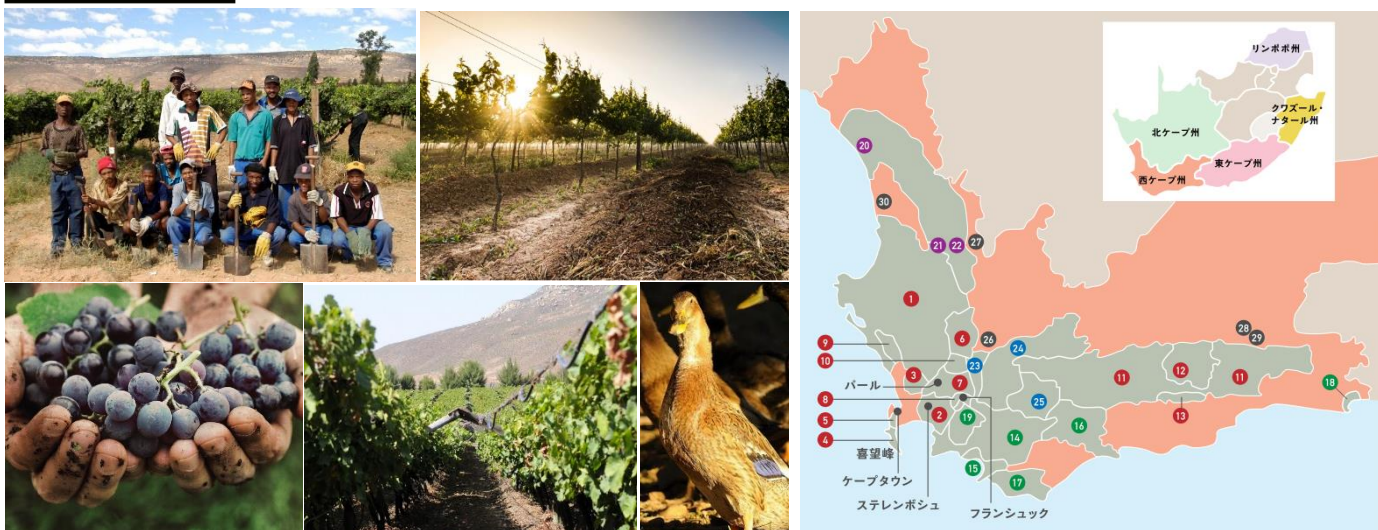




ステラーワイナリー <Stellar Winery>

オーガニックでフェアトレード、品質に妥協はない



地域：オリファンツリバー（地図No.②①）

「オーガニックだからと言って品質に妥協はない」。そのポリシーのもと、オーガニックワイン生産者としても毎年数多くのメダルを受賞しているステラー オーガニック社。ステラー社はオーガニックワインの生産者(コントロール・ユニオン・サーティフィケーションズ：オランダの認証)でかつ、フェアトレードの認証を取得した世界初のワイナリー。

初ヴィンテージ(2002年)から国際大会でもメダルを受賞し、「リーズナブルで高品質なオーガニックワイン生産者」として知られ、現在は南アフリカ国内と世界中にオーガニックワインを販売している。2008年には、イギリスでオーガニックワインとしてNo.1のブランドに成長した。

ステラー社では、畑にアヒルが飼われている。彼らが害虫を食べる。農薬を使わないので、土を掘り返すと虫がいっぱい。



【持続可能な経営姿勢】

労働者の彼らもステラー社の株を保有していて、販売利益が直接還元されるようになっている。また、ワイン販売の利益の一部を、近隣の託児所（労働者の子供達もここに預けられている。小学校のコンピューター導入費用など充てるなど、周辺地域の発展にも貢献している。ワインメーカー（醸造家）は、ウィリアムさんとアシスタントのジョーンズさん。ステラー社では、黒人労働者にも技術と経験を学ばせ、技術向上をサポートしている。

株式会社マスダでは、2015年以来、「フェアトレード開発基金」を設け、売上の一部を寄付しています。2020年時点での寄付金額：R107,363.75（約751,560円）。

